

平成 22 年度 第 1 回

情報配線施工技能検定

3 級 作業実技試験問題

1. 試験時間

30 分

試験開始時刻から 15 分を経過した後、作業が完了した者は技能検定委員の許可を得て退出しても良い。

2. 受検上の注意事項

- ・ 受検中の質問は一切受け付けない。ただし、緊急かつ必要性のある場合には、対応を協議するので、技能検定委員に手を上げて申し出ること
- ・ 「使用器工具・材料一覧」にある器工具・支給材料のみ用いてよい。疑義がある場合には、受検開始前に申し出ること。
- ・ 支給材料は、それらが不良の場合を除き追加支給をしない。
- ・ 安全作業に十分配慮すること。具体例として、カッターナイフの取り扱いについては、直接使用する以外には、剥き出しのままの状態で放置することのないことなど、安全上の注意を厳重に守り、試験検定委員及び試験補佐員の指示に忠実に従うこと。
- ・ 退出時は、周辺の清掃を行うと共に整理整頓を行うこと。又、ゴミ等は指定の方法により捨てること。
- ・ 退出後の再入場は認められないので、忘れ物等がないように確認のこと。

課題:メタルケーブルの配線施工作業

試験時間内に以下のメタルケーブルの配線施工に関する作業を行いなさい。

- (1)支給された3本のツイストペアケーブルの両端にモジュラジャック1を取り付ける。
3本の両端の結線方法は、ANSI/TIA/EIA-568-Bにおいて、2本をT568A、1本をT568Bとすること。
- (2)支給された1本の電話用ケーブルの両端にモジュラジャック2を取り付ける。
- (3)上記(1)で作成した物についてLAN テスタによる導通試験を行い、記入用紙に結果を記入する。

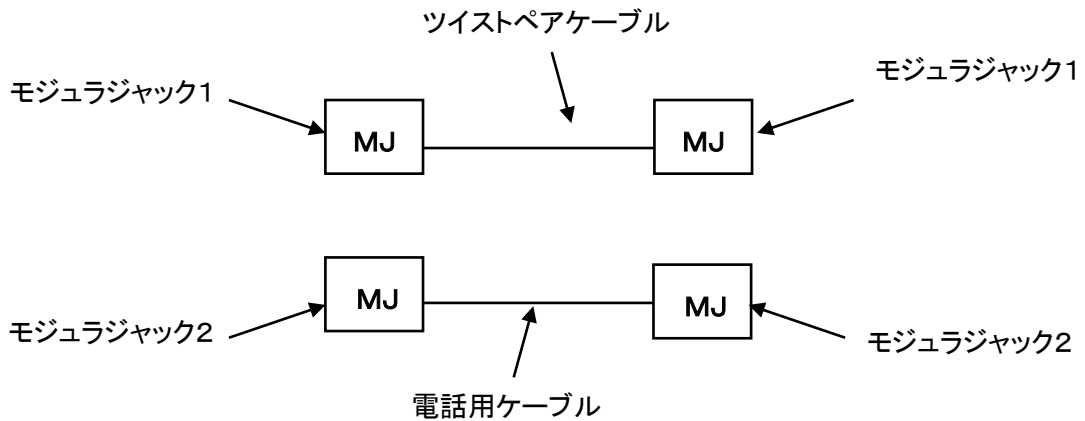


図1 メタルケーブル配線施工作業課題

【作業時の注意事項】

- ・ 時間内に、(1)～(3)の作業が完了していること。
 - ・ 採点の基準等については、別途公開している資料を参考にする事。
 - ・ LAN テスタを持参しない者には、作業試験会場にて貸出を行うが、数量が限られているため、複数人での共用となる。その際、使用するまでに待ち時間が生じても、時間的な延長はしないので注意すること。
- その他、貸出しに関しては、技能検定委員の指示に従うこと。

使用器工具・材料一覧

課題 A:メタルケーブルの配線施工作業

1. 受検者が持参しなければならない物(必須)

品名	数量	備考
ケーブル外被除去工具	1	ツイストペアケーブル、電話用ケーブルの外被除去用 (カッタナイフでも可)
ニッパ	1	ケーブルの心線を切断し、心線の被覆を除去できるもの
筆記用具	1	鉛筆、消しゴム

2. 受検者が持参してもよい物(任意)

品名	数量	備考
インパクトツール	1	モジュラジャックの結線用
ドライバ	1	ケーブル外被除去工具調整用
ケーブル切断工具	1	ツイストペアケーブル、電話用ケーブル用
ワイヤストリッパ	1	電話用ケーブルの心線被覆除去用
定規	1	ケーブル外被除去寸法測定用
LAN テスタ	1	LAN 用配線の導通試験が可能であるもの

※これら以外の工具等の持ち込み及び使用は認めない。

3. 支給材料一覧

材料名	数量	仕様	備考	
			メーカー名	品番
モジュラジャック 1	6	LAN 用	パナソニック電工(株)	NR3061
モジュラジャック 2	2	電話用 (6 極 2 心)	パナソニック電工(株)	WNT15629W
ツイストペアケーブル	3	Cat.5e、0.5×4 対、 0.3m	—	—
電話用ケーブル	1	0.5×2 対、0.3m	—	—